

令和7年度 第1回 焼津市地域公共交通会議 会議録		開催	日時	令和7年5月26日（月） 14時00分～16時00分
			場所	市役所1階 会議室1A西
報告事項	ア 令和6年度 市内バス路線の利用状況等について イ 令和6年度 デマンド型乗合タクシーの利用状況について ウ 令和7年度 デマンド型乗合タクシーの検討地区について ① 豊田地区 ② 下根方地区			
協議事項	ア 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）について			
出席委員 12名	(公共交通会議) 飯塚会長 (焼津市) 森田代理委員 (しずてつジャストライン(株)) 中村代理委員 (株)アンビ・ア) 小泉委員 (静岡県タクシー協会志太榛原支部) 八木委員 (中部運輸局静岡運輸支局) 廣津代理委員 (静岡県交通基盤部) 本杉委員 (静岡県島田土木事務所) 大谷代理委員 (静岡県焼津警察署) 山名委員 (焼津市自治会連合会) 原川委員 (さわやかクラブやいづ連合会) 増田委員 (焼津市民生委員児童委員協議会) 三藤委員 (焼津市社会福祉協議会)			
欠席委員 3名	堀内委員 ((一社) 静岡県バス協会) 山田委員 (ジャストライン労働組合) 八木委員 (静岡福祉大学)			
オブザーバー	焼津市建設部長 白石 雅治			
傍聴者	0名			
議事内容				
会議の成立	委員15名のうち過半数である12名が出席しているため会議は成立する。			
報告事項	ア 令和6年度 市内バス路線の利用状況等について *説明資料 P.2～8 自主運行バスの利用状況、経費、収支率、市内を運行する路線バスの利用者数、市補助額、市が実施しているバスの利用促進策について説明した。 【質問・説明等】 ○三藤委員：焼津市内の路線バスについて、補助金と運賃収入で採算は取れているのか。			

⇒事務局：路線バスの運行経費から運賃収入や補助金等を差し引いた金額を焼津市が補助金として補填している。

イ 令和6年度 デマンド型乗合タクシーの利用状況について

＊説明資料 P. 9～25

焼津インターチェンジ周辺地域、大島・三和地区、大井川地区で実施しているデマンドタクシー事業について、利用状況等を説明した。大井川地区におけるデマンドタクシーでは、新たに停留所が10ヶ所追加されたことや、回数券を導入したことを報告した。

【質問・説明等】

○小泉委員：焼津IC周辺や大島・三和地区のデマンドタクシーではなかなか登録者数が増えていないため、現場サイドからとしても登録者数を増やしていきたいと考えている。大井川地区においては年々登録者数が増加しているが、もっと増やしていきたいと考えている。

○本杉委員：登録者数に対して実利用者数が少ないため、まだまだ伸びしろがあると考えている。登録者数を増加していくには、出張講座が有効的だと考えている。また、運転免許証を返納した人に向けてデマンドタクシーを進めていくことをしたほうがいいのか。また、若い人の登録者数が少ないのでITやDX、自動運転等で周知していき、興味を持ってもらえるようにしたほうがいいのか。

⇒事務局：配布しているパンフレットでは停留所の正確な位置が分からないので、利便性を高めるために市のホームページに地図情報をリンクすることで、詳細地図が確認できるようにしたいと考えている。また、今後高齢者が増えていくため、出張講座や焼津市社会福祉協議会等と連携してデマンドタクシーを周知していきたい。自動運転については、他県等の事例を研究していく。

ウ 令和7年度 デマンド型乗合タクシーの検討地区について

＊説明資料 P. 26～30

令和6年度に策定した焼津市地域公共交通計画において、交通空白地域として認定している豊田地区及び下根方地区のデマンドタクシーの運行開始ができるように地元の役員と協議を進めていることを説明した。

【質問・説明等】

○原川委員：それぞれの地区における会議は既に行っているのか。

協議事項	⇒事 務 局：豊田地区においては令和7年3月に、下根方地区は令和7年4月に協議会が設置されましたが、それ以前に準備会等も立ち上げていただいており、地元の役員の方と協議を行っています。 ○原川委員：前任者からデマンドタクシーのことを聞いていないが、地域の人は周知しているのか。 ⇒事 務 局：協議会については地元の自治会長や役員の方々が参加している。下根方地区においては地元の会合で話をしていると聞いている。地域の協議会を設置したことを周知するためにかわら版を作成していきたいと考えている。 ○小泉委員：先の話になるが、豊田地区と焼津 IC 周辺地区が近いため、それぞれの地区で1台の計2台で運行するよりも、地区を統合して、1台で運行したほうがいいのではないのか。 ⇒事 務 局：今は地元の役員の方と協議をしている段階であるが、今後はタクシー協会の方にも会議にご出席していただくなど、運行方法等について協議を進めていきたいと考えている。 ○大谷代理委員：空白地域である豊田地区や下根方地区についてデマンドタクシーを検討しているとのことであるが、国道150号線で分断されている地域(五ヶ堀之内や三ヶ名付近)においても市民から通行に不便であるため対策してほしいと要望が出ている。 ⇒事 務 局：課題の1つとして把握させていただき、今後の検討の中で対応が可能かどうか考えていく。 ○山名委員：大井川地区のデマンドタクシーについて、人口に対して約5%が登録している。運行開始当初はデマンドタクシーについて回覧をしていたが、現在ではそのようなことは行っていない。3年に一回の頻度でも構わないため、回覧をしていただきたい。 ⇒事 務 局：利用者が増えるように、かわら版を発行する等をして、地元の方々に周知をしていきたいと考えている。 ア 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）について *説明資料 P. 32～P33 生活交通確保維持改善計画について説明した。 【質問・説明等】 ○本杉委員：焼津大井川線における令和6年度の運賃等収入が約360万円であり、経常費用と収益の差額と記載しているが、今回の補助金はどれくらい
------	---

	を見込んでいるのか。 ⇒事 務 局：金額の上限が決まっているため、毎年同じくらいの金額となっている。 令和6年度の金額としては約900万円となっている。内訳は大井川焼津線が約660万円、残りがデマンドタクシーとなっている。 【採択】 事務局案に賛成の方の挙手 ～賛成多数～ 事務局の提案通り実施する。
その他	予定していた議事が終了。 静岡運輸支局 八木委員より、地域公共交通会議での議論について説明があった。 静岡県交通基盤部 廣津代理委員より、ハッピーライドプロジェクトの説明があった。
閉会	第2回焼津市地域公共交通会議は、8月中の開催を予定。
	委員の交代があり、副会長に山名 競 委員、幹事に三藤 宏 委員が就任することとなった。